

事業所名 グループホーム 向日葵

日付 平成 21 年 7 月 17 日

評価機関名 有限会社 アウルメディカルサービス

評価調査員: 介護福祉士
ケアマネージャー

介護福祉士
ケアマネージャー

自主評価結果を見る (評価内容と一緒に添付しています。)

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)
(記述式)

入居者の健康面では、医師との連携がしっかり取れており、何かあればすぐ隣接する病院と連絡が取れ、病変にすばやく対応できる体制となっています。また、医療の一環として病院のリハビリに通うことができるので、入居者の一つの楽しみになっています。さらに、家族にとってもリハビリが日課となっているので、安心の一つとなっています。

入居者が普段の生活を送ることを基本に考えており、また、介護には手を出しすぎず、できることはなるべく自分ですること、機能の維持ができるようにしています。

隣接の病院とグループホームの管理者とは十分に意見交換ができており、グループホームの様々な提案に対して、病院は積極的に対応しています。

入居者や家族の思い、希望を汲み取り、グループホームの生活に活かせるよう努力しています。

特に改善の余地があると思われる点(記述式)

職員の退職もあり、管理者への負担が大きく感じられ、入居者が1日自室で過ごす姿が見受けられました。リハビリだけでなく入居者同士の交流の場を持つ事も大切かと考えます。2ユニットでありながら、お互いの良さが生かされていないことが少し残念でした。

加齢とともに昨年度まで出来ていたことが出来なくなって「できないからしない」ではなく「今何が出来るか」を考えて、入居者が楽しんで参加できる企画を立て、実行することでサービスの維持をしていくことを今後期待します。また、人材育成についても配慮し、もっと職員が勉強したり動きやすい環境を整えたりすることを期待します。

2. 評価結果(詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>入居者の個々を大切に、やりたいことを助けるように心がけています。例えば、入居者の方が床の物を取りたい場合でも、スタッフが代わりに取るのではなく、身体を支えそれができるように援助しています。また、隣接病院の医療スタッフと連携し、身体状況がより良い状態になるように配慮しています。</p> <p>自由でのびのび、ゆっくり、穏やかに生活できるようにと考え、入居者自身に納得して行動してもらえよう、ゆっくり待つ姿勢を大切にしています。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>入居者を尊重しながら、よく話を聞くことで落ち着くようです。現状では、特に問題もなく、入居者のみなさんは穏やかに過ごしています。職員の見守りのもと、危険な状態がない限りは、入居者が落ち着くまで待つ姿勢を大切にしています。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>入居者が日常生活において、以前していた様々な家事等が出来るように援助しており、基本的に見守りを重視し、必要以上に入居者の出来ることまでスタッフがしない「手を出しすぎない介護」を実践しています。</p> <p>ホーム内で入居者のことを話すときも固有名詞をなるべく使用しないように、居室のドアは閉めておくなど、基本的なことを徹底して個人を特定できる情報が外部に漏洩しないよう注意しています</p> <p>入居者一人ひとりの力や経験を尊重し、その方が出来る事を発見し、得意な面が出せるよう支援しています。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	<p>事故を未然に防ぐために、声だし確認を行うことを徹底するように心がけています。これにより、スタッフの中に事故予防への意識の徹底に繋がっています。</p> <p>問題が発生した時や気になることが起こった時にはミーティングをして、原因の解明や対策を話し合い、再発防止に向けて取り組んでいます。</p>		